

2013 年 6 月 30 日発行

君津木更津歯科医師会報

—第 71 号—



会員研修旅行（平成 24 年 9 月 22～24 日）

沖縄県石垣島にて

〈目 次〉

任期満了にあたって……………	2
臨時総会……………	10
平成 24 年度第 2 回生涯研修講習会…	11
平成 25 年度第 1 回生涯研修講習会…	12
敬老・祝賀・忘年会……………	14
医療管理委員会講習会・新年会……………	15
会員研修旅行……………	17
スキー同好会……………	19
解散旅行……………	20

一般健診……………	21
ゴルフ関連……………	22
高齢者健診……………	24
口腔がん検診（富津市）……………	24
麻雀大会……………	26
年末年始休日当番の報告……………	27
理事会報告……………	28
会員の動向・編集後記……………	36

任期満了にあたって

君津木更津歯科医師会 会長 市川 昇



月日のたつのは早いもので、会長をお引き受けしまして、2期4年が過ぎようとしております。歯科医師会の行事運営が滞りなく進んで、会長としての任期を終えられるのも原専務をはじめ、鎌田、山口両副会長、理事役員の方々そして会員の皆様方のご指導、ご協力によるものと感謝しております。会員相互の親睦を深めながら、各委員会が各々に責務を遂行してくれたことに改めてお礼申し上げます。この伝統ある君津木更津歯科医師会を私のような者がお預かりして、どれだけ貢献出来たかはわかりませんが、その責務の重大さを痛感しながら、会務の執行にあたってまいりました。振り返ってみますと就任4年前から新法人の移行を念頭に、まずは個々の事業が公益目的事業になるか検討し、移行前に新規事業として口腔がん検診、高齢者歯科健診等を導入しました。昨年2月に一般法人としての認可を受け、平成24年4月1日に登記を行い、一般法人としてスタートしました。当会の公益目的資産額に対する支出計画実施期間は8年で、これを終了するまでは、毎年主務官庁に会計、事業報告書を添付して公益目的支出計画実施報告書を3ヶ月以内に出さなくてはなりません。この8年間事業計画の変更や事業予算の増減による実施期間に変更を生ずる場合は直ちに主務官庁に届出をして許可を得なければなりません。24年度決算は申請時の支出計画実施額をかなり下回りましたが、何とか実施期間の延長の届けをしなくて済みました。25年度は県歯補助金のかかなりの削減により、事業予算獲得のため、他からの収入を考え、年末年始休日診療、あゆみ園、口腔がん検診等の地元行政からの補助金を獲得しました。このように実施期間中はこの繰り返しですが、終了後には主務官庁への報告義務はなくなりますが、定款により議案並び公告を行うために同様の会計、事業報告書を作らなければなりませんので、公益法人一般法人どちらもすべきことは同じで、メリットは公益の方が勝ると考えます。船橋歯科医師会の公益法人の認定の獲得により、認定が容易になり、続いて2郡市が公益法人となりました。当会の今年度決算は、公益目的事業比率62%で、逆に支出計画実施額は期間8年の達成の為には下限ギリギリでした。当郡市はここ数年新規開業もなく、去年4名の会員が閉院をし、1名が休診をいたしました。本年も2名の退会、休診の意向連絡を受けております。将来会員の高齢化による終身会員の増加、会員数の減少等による会費収入がかなり減ることが予想されます。現在の事業規模を維持するためには外部より補助金を獲得するか、会として訪問診療や休日診療所等の新たな事業展開を図るか、会費の増額、終身会員を75歳まで引き上げるか、または事業規模を縮小するかの判断が必要されます。次に学校医の委嘱に関して主に木更津市、富津市

において4年前は10数年校医のない方が20数名おりましたが、小中学校で複数お持ちの先生方の御協力や行政や私立学校に増員の要請を図り、すべての会員に新たな配置を獲得できました。県歯では現会長が2期に渡り、千葉県歯科医師会会長として、我々会員のため真摯に務められ、新会長により新たな体勢がスタートしますが、歯科界には歯科医の需給問題や歯科医院経営不安等様々な問題山積しておりますが、全会員一丸となって努力してゆくことで問題解決と同時に将来の展望も開け、会の発展もあると信じます。会員皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げ、任期満了のご挨拶とさせていただきます。

副会長 鎌田 誠



この2年余の任期中、市川会長の指示のもと、主として法人改革に伴う定款、細則をはじめとする諸規定の作成に携わらせていただいたことがまず思い出されます。定款については内閣府から提供された「ひな形」がありましたが、身近な参考としては、歯科医師会の中で最初に公益法人に認定された豊島区歯科医師会のものしかなく、久々に受験勉強のような毎日を過ごしました。今考えますと、認可、認定の基準も現在は徐々に緩やかになってきているような感じを受け、定款ももう少しこうしておけばよかったと思う点があります。ましてや細則その他諸規定については、今後必要に応じ、何度も改訂を加えていただきたいと思います。

次にHP（ホームページ）のことです。広報担当の神先生と共に会のHPを県歯もお世話になっているデンタルインターネット社の佐藤氏のお力をお借りして、一昨年度、何とか立ち上げることができました。申すまでもなく、HPは迅速性が重要です。また頻繁に更新しなければなりません。担当者には今後ともご尽力の程、お願いいたします。

また現在、理事会もML（メーリングリスト）を活用し、省力化とローコスト化を図っております。今日では学校の保護者連絡もメールの時代となっております。会員の皆様におかれましても、メールの活用に一層のご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

最後に2年余にわたりまして、いろいろな面でご協力いただきました理事各位、そして会員の皆様にお礼申し上げます、退任のあいさつといたします。

副会長 山口 延善

2年3ヶ月の副会長の任期も、無事大過なく終了することができ、ほっとしています。

懸案でありました法人移行も、市川会長のもと、鎌田副会長、原専務、各担当理事の努力により一般法人への移行が無事できました。

今後当会は原則、公益目的支出計画により公益事業を行い、計画の実施期間中は行政庁へ計算書類を提出し実施報告を行わなくてはなりません。つきましては会員先生方のさらなるご協力をお願いし、退任の挨拶とさせていただきます。



専務理事 原 比佐志

2年3か月という法人制度改革に伴う変則的な任期も終わろうとしています。前期よりの課題であった法人制度改革への対応も皆様の協力のもと、なんとか完了いたしました。

新法人移行後の会務執行も1年を経過し、問題点もいくつか見受けられますが、次期執行部においては、それらの改善と、大きな変更をし難くなった諸事業の運営と円滑な申請方法の確立を目指し、ご尽力願いたいと存じます。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。



監事 砂川 直俊

2011年 未曾有の大災害が起った直後に出航した第二次市川丸あれから2年と数カ月が過ぎました。景気低迷は歯科界も例外ではなく、抱える諸問題も多数あり、また法人移行というハードルも目の前にはありました。難しい舵取りが予想されましたが 市川会長を筆頭に三役の先生、そして各担当理事の先生方がそれぞれの立場でご尽力されかなりの成果を上げてきたと思います。

口腔がん検診、各市の衛生士問題等いくつかの課題は残っておりますが、いい状態で次期への引き継ぎが出来るものと確信しております。



私は、と申しますと「微力ながら全力を尽くす所存・・・」という挨拶で就任したものの「微」がいくつも付くような力しか発揮できずに 皆様におんぶにだっこでここまで来ました。

ここであらためて市川会長はじめ各先生方にお礼と、お疲れ様と申し上げたいと思います。また会務にご協力頂きました会員の先生方にも深く御礼申し上げます。

最後に会員の皆様の御健勝と 会の発展を祈念して退任の御挨拶と致します。

ありがとうございました。

監事 椎津 裕貴



2期に渡って理事を務めさせて頂いた5年の経験を生かして、少しでも歯科医師会のお役に立てればと思い、監事をお受けし、2年が過ぎ、任期を終える事になりました。皆様には大変お世話になり心より感謝申し上げます。ここ数年、法人改革等有り、多難な会運営でありました。ここまで進めて来られたのは、市川会長はじめ、関係各位の御尽力の賜物と存じます。君津木更津歯科医師会としても、誇りにして良いかと思います。皆様に敬意を表します。今までの歯科医師会と、これからの歯科医師会は、大きな変革を向かえる時期に来ていると思います。会員自身も各々自覚し、これからの会の発展に望んでいきましょう。重責が務まったかどうか分かりませんが、この辺で、肩の荷を下ろさせて頂きたいと思います。益々の会の発展、皆様の御健勝を祈念して、退任の挨拶とさせて頂きます。

総務会計担当理事 青木 浩芳



法人制度改革に伴う新法人化という重要な時期に、総務・会計担当理事を務めさせていただきました。任期を通じて、とにかく一言「皆様ありがとうございました」

㊦「総務・会計をするとは思っていなかったので、まったく分からないのですが?」、㊦「みんなも自分がすると思って見てないよ」、㊦「は、でも一・・・」。

㊦「え、総会って総務が取り仕切るのですか?」、㊦「は一・・・」。

㊦「法人の会計って、よくわからないのですけど?」、㊦「誰も青木がわかるとは思っていないよ」㊦「は一」。

そんなこんなで時が過ぎ、退任と相成りました。

総務・会計が機能不全となりながらも歯科医師会の運営が滞らなかったのも、市川会長、原専務、鎌田、山口両副会長、理事役員の方々、事務の岩崎さん、そして何よりも会員の皆様方の暖かいお気持ち・御支援によるものと改めて感謝しております。

会務を通じて県歯、他郡市の先生方、厚生局、税務署、市役所等々の見方・考え方を学ぶ機会も多く、自分にも非常に勉強になりました。ぜひ今後も多くの会員の先生方のお力添えで、会の発展を図っていただきたいと思います。

生涯研修担当理事 熊切 篤



退任にあたりまして、お世話になりました市川会長はじめ理事の先生方にお礼申し上げます。

宮地建夫先生、本田和也先生、鴨井久一先生、北原信也先生、加藤大介先生、渡邊俊英先生の講師の先生方を今期、それぞれ会員の先生方からの御縁でお呼びすることができました。

講師の先生をご紹介いただきました先生方、どうもありがとうございました。

講演会に参加いただける出席数を皆さまの評価と判断して参りましたが、41 名から 67 名という内訳になっております。スタッフの方達の参加も多い会もございました。

他郡市からの参加が 5 名と多い会もございました。反省もありますが今後も皆さまの生涯研修委員へのお声がけをよろしくお願いいたします。

それから、ベテランの生涯研修委員会の先生方のおかげで、毎回とどこおることなく講演会を開催できましたことに感謝申し上げます。

ご協力いただきました会員の皆さま、どうもありがとうございました。

社会保険担当理事 須藤 正明



社保担当理事として2期4年間就任させていただき誠にありがとうございました。退任にあたり、一言挨拶させていただきます。就任時からレセプトの電子化という難題に直面し、当初は自分自身でもよく理解出来ていないことを、会員の皆様にうまく情報伝達できているのかとても不安でした。

また、2期目に入ると震災によるレセプト請求への対応の情報が錯綜し、ご迷惑をおかけしたと思います。4年もの期間がありながら、肝心のレセプトの内容を濃くするという本来の社保委員会の活動が活発に出来ず、会員の皆様には誠に申し訳ありませんでした。

最後に、このような不甲斐ない理事を我慢して採用していただいた市川会長をはじめ理事会のメンバーの皆様 また、委員会活動にご協力いただいた社保委員の先生方、レセプト審査員の青木先生・鈿持先生 そして、様々な面でご協力いただいた君津・木更津歯科医師会会員の皆様に感謝いたします。

地域保健医療担当理事 小松 利典

地域保健医療担当理事に就任させていただき、早2年と3ヶ月が過ぎてしまいました。お蔭様をもちまして、至らぬことも多々あったとは存じますが、何とか無事に大役をこなすことができたのではないかと考えております。

当委員会の主行事であります、平成21年度から袖ヶ浦市、木更津市と始めました口腔がん検診も、担当させていただきました君津市、富津市と無事に開催を終え、一応の成果も得ることができたと思っております。これで四市を一巡し、平成25年度からは、袖ヶ浦市では2度目の口腔がん検診を開催する予定です。また、本年度は、木更津市からの委託事業としまして「国保いきいきフェスタ」での口腔がん検診が開催される運びとなりました。行政からもこの検診事業の意義が認識され始めているのではないかと思います。

行政との折衝に大変ご尽力いただきました市川会長、この基礎を作られた前任の椎津先生並びにお世話になりましたに諸先生方に厚く感謝、御礼申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。本当に有り難うございました。



学校歯科保健担当理事 水町 裕義

2年3か月の間、学校歯科保健を担当致しました。学校医の委託に関しまして関係する先生方のご協力や市川先生を中心に行政や私立学校への交渉により増員が図られたことで、多くの先生方に校医になって頂くことができました。

健歯児童生徒審査会は初年度には無事に終わるか不安で、前任の小松先生に逐一ご助言を仰ぎましたが、何とかこのたび3回目もやり終えることができました。これも会員の先生方のご指導、ご協力なしにはできませんでした。

県歯関連では県立学校の校医推薦基準の設定や、健歯児童生徒審査会の健歯部門が25年度より廃止されるなど変わろうと致しております。社会に対しても、会員に対してもよりよい形にして頂きたいものです。



最後になりましたが、お声をかけて頂いた市川会長をはじめ理事会の先生方、そして様々な形でご協力頂いた歯科医師会会員の皆様に感謝を申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

産業保健担当理事 鶴岡 隆行

産業保健担当理事に選出していただいて以来、市川会長をはじめ理事の皆様、また会員各位のご指導により大過なくその任を果たせたことを心より感謝申し上げます。

伏居先生の後任で担当させていただきましたが、就任当初に、袖ヶ浦市役所の健診を断られてしまったことと、新たな事業所健診を開拓できなかったことが今でも悔やまれます。でも、仕事に精通している産業保健の各委員の先生のおかげで各事業を乗り切ることができましたし、勉強になることのほうが多かったように思います。

只々、感謝の2年間でした。ありがとうございます。



特殊歯科保健担当理事 伏居 教男

特殊歯科保健担当理事を拝命して、前理事から仕事内容並びに委員会の先生方からは、行事の実務について、また君津あゆみ園を担当している摂食嚥下指導医の先生方からは新しく担当する君津あゆみ園の摂食嚥下指導の実務を教授されることから、私の理事としての仕事が始まりました。

一年目は、無我夢中で、あっという間に過ぎてしまいました。二年目は、それぞれの事業にご活躍されている先生方が、活動しやすいように潤滑油になれるようにと自分の目標にかかげ仕事に努めました。委員長をはじめ、委員の先生方には、そのつどの的確なアドバイスや、さりげないお心使いをして頂き無事に各行事、摂食嚥下指導を終わることができました。この2年間、市川執行部の先生方、いつも笑顔で行事の実務をしてくれた特殊歯科保健委員の先生方、君津あゆみ園の摂食嚥下指導医の先生方、さらには各会員の諸先生方にささえられたこの2年間は、私の歯科医師人生の財産です。平成25年度からは、君津あゆみ園の摂食嚥下指導が、県歯科医師会から郡市歯科医師会に移行され、郡市歯科医師会の仕事も今まで以上に増えることが予想されます。最後に、特殊歯科保健の各行事にご協力いただいた先生方、関係者の方々、本当にお世話になりました。ありがとうございます。



医療管理担当理事 古谷 隆則

医療管理担当理事として市川会長はじめ執行部、理事の皆さんに助けて頂きながら2年間の役を務めることができました。

特に委員長の鈴木みちよ先生、医療管理委員会の皆さんのご協力を頂きまして任期を終えることができましたことに感謝いたします。ありがとうございました。

休日診療体制ですが4市の皆さんにかなり浸透してきたようで利用者数も多くなっています。毎度のことですが今後も皆さんご協力のほどよろしくお願いします。



広報調査担当理事 神 由紀彦

震災後、心が晴れぬまま過ごしていたところ、追い打ちをかけるように理事就任の要請があり、途方にくれたのが思い出されます。前任の山口究先生より紙袋いっぱいの資料やデータを手渡せられた時、その重さとこれからの責任の重さが交錯し、身が引き締まる思いでした。それから2年余りが経ち、今号の会報の発行までたどりつくことができたのには感慨深いものがあります。

市川会長はじめ理事会メンバー、委員会の先生、お忙しい中ご寄稿いただいた多数の先生、全ての会員の先生に御礼申し上げます。



臨時総会



平成25年6月8日（土）午後7時45分より、東京ベイプラザホテルにて臨時総会が開催された。

原比佐志専務理事による司会進行のもと、山口延善副会長による開会の辞の後、点呼において会員総数141名中 出席53名・委任状提出者45名、合計98名にて、本総会の成立の運びとなった。

市川昇会長の挨拶後、議長選出に移り執行部一任の声により中村幸成先生が選出され、また議事録署名人は議長一任の声により奥貴先生・松清均先生が選任された。報告は特になく、続けて議事へと進行し

<提出議案>

第1号議案 役員改選に関する件

理事及び監事の全員が次回定時総会の終結と同時に退任することになるので、その改選の必要があるとの説明があった。

続いて選挙管理委員長の水野信義先生より会長および監事の立候補者についての報告があり、5月29日の締め切りまで立候補者の届け出はないとのことであった。

原専務理事より、候補者がいないとき総会の決議により別段の方法によることができるとの説明があり、会長候補者（理事の代表）を推薦する形をとるという事で、選考委員の選出が議長一任の声により、高木大和先生、和田勝先生、高野孝治先生、勝呂泰樹先生、高浦幹雄先生の5名が選出され、別室にて選考が行われた。和田先生より説明があり、「5名全員が、第一副会長である鎌田誠先生を推薦したい」とのことであった。

つづいて鎌田先生からの挨拶があり、会員皆様へのご協力のお話し等のお話があった。

他の理事ならびに代議員（予備代議員も含む）と国保組合会議員については、定時総会までに鎌田先生に一任ということになった。

協議事項は特になく鎌田副会長の閉会の辞により、8時10分に散会となった。

（神 由紀彦記）



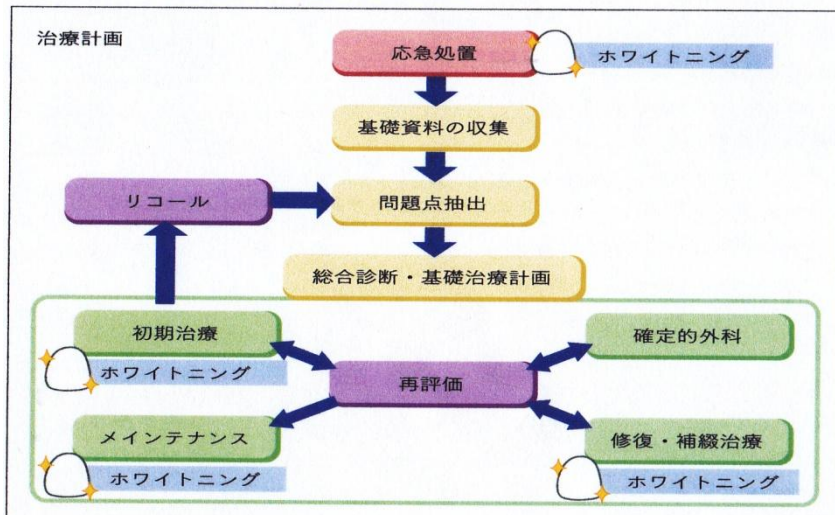
平成 24 年度第 2 回生涯研修講習会

平成 24 年 12 月 1 日（土）、東京ベイプラザホテルにおいて、東京都中央区開業の北原信也先生をお迎えし「審美修復治療の考え方と実際 ホワイトニング～接着まで」というタイトルで講演して頂きました。

以下、講演内容の要約です。

まず、下図のチャートに沿って処置を進める。

臨床における包括的評価と治療計画



以上において、ホワイトニングは、リコールツールとして活用できる。タッチアップ（再ホワイトニング）を 6～12 カ月に 1 度する。このフローチャート中の 基礎資料と修復補綴治療、ホワイトニングについての解説がありました。

基礎資料～いろいろあるが審美からみると①～⑤がある。

- ① 正面から見る②三次元的にみる③スマイルライン④オクルーザルプレーン⑤ギンギバルライン

そして、修復・補綴治療については、目的として 1.審美（基礎資料の①～⑤の項目）2.機能 3.構造 4.生物学的恒常性の以上の 4 点を満たす処置を行う。ホワイトニングはこの処置の前に終えておく。続いて臨床例を出しながら、解説がありました。これらの処置で重要なのはモックアップ（最終補綴物の形態を有するレジン製のシェル）を作製することで、そのシミュレーションによって最終補綴物の形を決める。さらにベニアの修復では削除量がわかりやすくなるため必要とのこと。また、顔をみて、口唇をみて、歯をみていく。上顎 6 前歯の歯軸がへそに向かっていくとよい、上顎中切歯を長めに見せると若く見えるなどのお話は、われわれの臨床にも参考になりました。

つづいて、ホワイトニングについての説明がありました。

そのなかで、ホワイトニング用測色器として「シェードアップナビ」、他にソフトとして「シェードアップシミュレーターソフト」（いずれも松風）が便利という事でした。

歯の着色を分解していくと 1.着色度 2.色の傾向（暖色系・中間色・寒色系）では、暖色系が変化しやすい 3.バンディング（歯の縞模様）最初は目立つことがあるが、継続すると目立たなくなる。4.ホワイトスポット 歯の表面と中のスポットでは、表面はとれづらい 5.テクスチャー（表面の性状）によってホワイトニングの効果が異なる場合がある。などにわけられるとのことでした。

接着については、エッチング・ボンディング剤関係から、ファイバーポストは直接法にするなどの自身の臨床法をおはなして頂きました。

髪の毛の場合、1～2 カ月で美容院に行くのに、ホワイトニングは1回きれいにしたら永遠にと考えるのはおかしい話で、北原先生は「6～7 か月に1回来院すればずっときれいな白い歯でいられるのですから、簡単なメンテナンスでしょ」と説明されているようです。女優のY・Rさん、F・Eさんなども来院しているという事で羨ましくも思います。

最後の言葉として、歯科医療を家にたとえると、審美以外のものが、基礎・土台で、その上に建つ家が審美であり、審美それだけで成り立つものではないという主旨が述べられ、講演を終えました。（金明培記）



北原先生（左）と熊切理事



平成 25 年度第 1 回生涯研修講習会

平成 25 年 4 月 6 日（土）午後 4 時 30 分から医歯薬会館（木更津看護学院）において、平成 25 年度第 1 回生涯研修講習会が開催されました。受付と同時に救急医薬品の配布が行われ、本講演の前に「大腿骨近位部骨折抑制を目指した骨粗鬆症治療」という演題で武田薬品工業株式会社の石崎晃一様より、ビスフォスフォネート(BP)製剤「ベネット錠」の骨粗鬆症治療における有用性についてご講演いただきました。

本講演では最初に君津中央病院歯科口腔外科部長の渡邊俊英先生より「BP 製剤と顎骨

壊死」という演題でお話して頂きました。

B P 製剤は骨粗鬆症の第一選択薬であり、その他にも癌疾患や骨量を減少する疾患に対して有効な治療法として使用されています。近年、B P 製剤を投与されている癌患者や骨粗鬆症患者が抜歯など侵襲的な歯科治療を受けた後、顎骨壊死(BRONJ)が発生しB P 製剤と BRONJ との関連性を示唆する報告が相次いでいます。早急な対応に迫られているものの発生機序が不明であり、治療法や対処法が確立されていないため混乱を招いているのが現状です。B P 製剤による顎骨壊死発生頻度は注射剤によるものが約9割で、経口投与によるものは推定で10万人に1人と言われていますが、かなりの高率で発生するという報告もあり、特に抜歯後に発生する可能性が高く発生率も高くなります。

BRONJ の診断基準は(1) 現在あるいは過去にB P 製剤による治療歴がある。(2) 顎骨への放射線治療歴がない。(3) 口腔・顎・顔面領域に骨露出や骨壊死が8週間以上持続している。BRONJ の治療指針は(1) 骨壊死の進行の抑制。(2) 疼痛や知覚異常の緩和や感染制御→患者のQOLを維持。(3) 患者教育および経過観察、口腔管理の徹底。

経口B P 製剤投与中に侵襲的歯科治療を行う場合には、再度患者に経口B P 製剤投与とBRONJ のリスクについての説明を行い、骨への外科手技の直前直後にイソジンによる口腔洗浄を行う。また、予防的抗菌薬の使用は個々の患者病態と危険因子の有無によって判断する。今後の展望として BRONJ への対応は、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士の協力によるチーム医療体制の構築をし、口腔管理の徹底による BRONJ の発症予防および臨床データの蓄積による適切な対応策の確立が必要であります。

続いて、加藤大介クリニック院長の加藤大介先生より「整形外科における骨粗鬆症～診断と治療および BRONJ について～」という演題でお話して頂きました。

骨折・転倒が「要介護」の主な原因の第5位になっていて、全体の10%近くになってきています。骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2006年版では、国内における骨粗鬆症の患者数は1,280万人、大腿骨頸部骨折の患者数は女性で116,800人/年、男性で31,300人/年、脊椎椎体骨折の有病率は70歳代女性で22%、同じく男性で11%となっています。椎体骨折数と死亡率の関係は椎体骨折数が2個の場合は0個と比較すると2.5倍、同じく3個以上の場合は約4倍となっています。

骨粗鬆症とは骨強度が低下する疾患であり、1993年にWHOは骨強度＝骨密度と定義しています。骨密度は骨塩定量を測定することで求める事ができ、%YAM値が70%未満の場合には骨粗鬆症と診断されます。2000年にNIH(アメリカ国立衛生研究所)は骨強度＝骨密度+骨質と定義しています。骨はコラーゲンとミネラル(骨塩)で構成され、コラーゲン分子をつなぐものが架橋であります。架橋には善玉架橋のリジロキシダーゼと悪玉架橋のAGEs(糖化タンパク)があり、悪玉架橋が増加すると骨質が低下します。原発性骨粗鬆症のタイプの割合は低骨密度型が50%、骨質劣化型が30%、複合型が20%となっていて、低骨密度型の方が骨質劣化型より骨折率が高くなっています。B P 製剤は骨質に対しては作用しないものの、骨密度を増加させる作用は他の薬剤と比較すると強いので、低骨

密度型骨粗鬆症の場合は第一選択薬となっています。B P 製剤の問題点としては、長期投与により骨代謝回転が極度に抑制されることです。骨代謝が低下すると **BRONJ** の発生頻度が高くなるので、骨代謝マーカーが低い場合には **BRONJ** になる可能性が高くなります。

医療連携においては、整形外科・内科ではB P 製剤導入時に歯科受診を勧め、その間はB P 製剤以外の薬剤を代用させ、%YAM 値・骨代謝マーカー・既往歴等の情報提供を行うようにすべきである。歯科ではB P 製剤を3年以上服用している場合、歯科治療開始時に主治医にコンサルトすべきである。このように医療連携を深めることができれば良いと思っています。

お二人の先生に御講演をいただき、B P 製剤と **BRONJ** についてさらに理解を深めることができました。B P 製剤は内服薬だけではなく注射剤もあるので、より詳しい問診が必要だと感じましたし、整形外科・内科との医療連携についてもより深めるべきだと感じました。
(勝見雅也記)



渡邊俊英先生（左）と加藤大介先生

敬老・祝賀・忘年会

平成 24 年度君津木更津歯科医師会「敬老・祝賀・忘年会」が 12 月 1 日（土）、午後 6 時より、東京ベイプラザホテルにて開催されました。

伏居教夫先生司会のもと以下のように進行了しました。

1. 敬老出席者紹介
大澤憲二先生、和田勝先生
2. 表彰受賞者紹介
鈴木好之先生 国保功労 連合会理事長表彰
熊切篤先生 国保功労 連合会理事長表彰
3. 会長挨拶
市川昇先生 君津木更津歯科医師会会長



中後淳氏



浜田靖一氏

4. 来賓紹介・挨拶

浅野薫之先生 千葉県歯科医師会会長

浜田靖一先生 前衆議院議員

中後淳先生 前衆議院議員

山口誠一郎先生 千葉県歯科医師国民健康保健組合理事長

宮吉正人先生 千葉県歯科医師連盟理事長

5. 乾杯

和田勝先生

6. 閉会の挨拶

山口延善副会長

67名の出席者があった本会は盛会裏に終了しました。

(神 由紀彦記)



医療管理委員会 講演会・新年会の報告

平成25年1月26日(土)午後4時より、ロイヤルヒルズ木更津ビューホテルにて、医療管理委員会主催の講演会が千葉県歯科医師会生涯研修担当理事 早川琢郎先生を講師に迎え、「タービンの滅菌化」という内容で行われました。

当日は、講演会開始前に雪も降りだしましたが、多くの会員の先生が参加されました。

内容は、現在歯科受診される患者さんのなかには、検査を受けていないために、本人が自覚せずに、ウィルス性肝炎、HIV感染症の患者さんが存在する可能性があります。そのため出血を伴う処置の多い歯科医院では、他科よりも交叉感染を含めた院内感染予防が求められます。感染予防対策としてのグローブ治療の次に、千葉県歯科医師会生涯研修委員

会では「タービンの滅菌化を考え、その重要性和方法が紹介されました。

タービンは高度医療器具であり、毎日の使用には確実なメンテナンスが必要となります。機器の機能を維持し、故障を軽減させ、カートリッジを長持ちさせる目的からも、タービンの滅菌化は必要といえます。

実際の滅菌方法を紹介していただきました。

- ① 使用後のタービンをアルコール綿で清拭
 - ② オートクレーブ（自動洗浄注油器）で注油
 - ③ 滅菌バッグに入れて小器具用のオートクレーブで滅菌
- という方法が推奨されました。

また、1日25人来院の歯科医院の場合、タービンの滅菌に1人あたり約39円の費用がかかるそうです。

タービンの滅菌化はそのコストや滅菌作業の煩雑さもありますが、今後さらに高まる患者さんの清潔志向と感染予防対策に関する要望に応えるためにも又、受診される患者さんのみならず、スタッフのためにも、院内感染予防対策義務化のためにも必要となってくると考えられます。

後半は、増加するビスフォスフォネート（B P）製剤服用者に対する歯科的対応に関して千葉県歯科医師会としては、医師・薬剤師との連携が必要と考えております。医師へは、B P製剤服用前に歯科受診と抜歯等の治療の実施の勧めと服用中の定期的歯科健診と口腔ケアの継続を勧めるように、また、歯科治療に際しての、可能な場合の、休薬指示等の要望を医師会誌に掲載する等の働きかけをしているということでした。

以上の内容でした。

その後、6時から会場を移動して、おいしい料理とお酒等で、今年1年、それぞれの会員の先生の活躍を期待しながら、和やかに新年会が行われました。（鈴木みちよ記）



早川琢朗先生



石井ひろ子氏

会員研修旅行



平成 24 年 9 月 22 日（土曜日）、君津木更津地区の広大な診療圏において患者さんによりよい医療を供給するには、どのようなことに主眼をおかなければならないかという問題意識を会員が、共有するために、君津木更津地区の診療圏と酷似している八重山諸島の歯科医療の現状の把握のため、まだ夜が明け切らぬ午前 4 時 30 分市川会長を先頭に総勢 10 名の会員一行は、君津駅南口を一路石垣島に向けて出発、午前 9 時 30 分頃石垣空港到着、休む間もなく、休日のショッピングセンター（木更津市にもあるマックスバリュ）にて各自が、市民と交流目的で買い物、その後、宮良川に群生しているヤシ林を見学（潮の独特のにおい、木更津にある潮浜公園をお盆時期の日中に歩いている感じ）、続いて来年度完成予定の石垣空港を高台より見学（滑走路は、2,000 メートル、現空港は、1,500 メートル、エメラルドのような真っ青な色でなんとも言えない心地良い風が吹いていてロマンチックな感傷に、一同しばらく浸ってしまう感じ）昼食をはさみ、サンゴ焦が、石垣島いちきれいだといわれている川平公園の海中を、グラスボートより鑑賞（館山にあるサンゴとは、比べ物にならない位きれいで、ウミガメにも出会えました。宮古島のサンゴともちょっと違う雰囲気です）そして、御神崎での灯台そばの岩の空洞には、年齢不詳の男女の姿が、（ガイドさんいわく、みなさん都会を離れて島にくると今の男女のペアは、所構わず、お互いの愛を確かめあっているとのこと。石垣空港でも、愛を確かめあっていたとのこと）大変気になりました。（笑）そうこうしているうちに日暮れ時になり、1 日目ではしか買うことのできない八重山諸島独特のおみやげを、買い物かごにいれて、お店の人と談笑する先生の姿があちらこちらに見受けられました。あとは、昨年と同様、宴会では、市川会長ご挨拶の後、各会員が、泡盛片手に、無礼講で、いろいろな話題で盛り上がり、2 次会に突入、2 次会は、夏川りみのおかあさんがやっているお店で、お母さんと姉妹の「涙そうそう」のデュエットに皆が、聞きいっていました。2 日目は、この研修旅行最大の目玉である、自由行動です。日本最南端のゴルフコースでプレーをする人（風でスコア一崩す人いたのかな？）カヌーと自分の足をたよりにサンガラの滝を目指す人（滝の裏側歩けたのかな？）3 島めぐりの人（由布島の水牛のおしりど

うでした?) 石垣島をレンタカーで回られた人(かわいい動物にめぐり合い、恋に落ちませんでした?)、最後に最南、最西端の温泉に入ったひと(イメージ画像に写っていた美女に会えました?)とにかく 2 日目は、会長以下、さらに宴会は、パワーアップして、2 次会、3 次会、最後はラーメン食べて、朝を迎えてしまいました。3 日目の竹富島のサンゴ焦もきれい、水牛のうら若き乙女のおしりを見ながらの島内観光は、最高だった。24 日、午後 9 時に君津駅南口に、全員無事に帰ってきて、名残惜しかったですけど散会しました。今回特殊歯科委員会で企画したことを具現化し、楽しい旅行になるように配慮してくれた(有)アドサンの添乗員・三上さん、さらには、旅行に参加しながらいたるところで、担当に気をつかっていただいた会員の先生方、みなさんの心優しさが、身にしみる会員研修旅行でした。みなさんありがとうございました。

(伏居 教男記)



「メールアドレス」登録のお願い

～君津木更津歯科医師会の情報をあなたのパソコンへ～

ぜひ、ご登録を!

下記のメールアドレスに送信

kkdental@nifty.com

件 名: メールアドレスの件

通信欄: メールアドレスお知らせします。

氏名記載 (フルネームでお願いします)

スキー同好会



平成25年3月20日午前5時に渡辺歯科医院前に集合し、羽田空港に向けて出発。午前8時には千歳空港に到着していました。そこからレンタカー2台でニセコまで行くことになっていたのですが、私の凡ミスで1台は札幌駅前での配車となっていました。急遽、私はJRに乗って札幌駅に向かうこととなりました。藤井先生と渡邊先生にも同行いただきまして、旅は道ずれ世は情けといったところでしょうか。直接ニセコに向かった車に遅れること約30分、11時頃に目的地でありますニセコグラン・ヒラフに到着。

スキーウェアに着替えてゲレンデに出るとさすがに北海道、3月でも寒いです。午前中は足慣らし程度にして、昼食のためにレストハウスに入りました。そこには外国人が沢山いて、日本人ばいけど何となく違うかなという人達ばかりでした。話し声に耳を傾けると、英語、中国語、韓国語などで、日本人は2割ぐらいしかいないのではないかと思います。外国人にも人気のニセコスキー場、グラン・ヒラフとつながっているビレッジスキーリゾートとアンヌプリ国際スキー場もあるのですが、2日間ではそちらまで行けそうになくくらい広大です。午後になるとだんだんと霧が濃くなり、雪もちらほらと降り始めました。ホテルに戻る時間には視界がかなり悪くなり、延々と続く中斜面を滑走している途中で大塚先生が転倒し右ひざを負傷。大塚先生は、夕食会場までは何とか自力で行けたのですが、帰りは車いすでの移動となるほどの重症でした。夕食はバイキングだったのであまり期待していなかったのですが、ことのほか好評でどれを食べてもおおいしかったです。

2日目は朝から雪が降り、ゲレンデコンディションは良くなったのですが、だんだんと視界が悪くなる状況でした。なので、早めに切り上げて午後は小樽観光に行くこととなりました。小樽に向かう途中、吹雪により視界がほとんどない状態になり、かなりの減速や停車しなければいけないことがしばしばありました。峠道だったために、交通量が少なかったことと、吹雪が途切れることがあったので何とか無事に走ることができました。

最終便で帰るグループとは高速道の途中で別れ、私たちは札幌に向かいました。札幌はまだ道が凍っていて、藤井先生が転倒して腰を強打するアクシデントもありました。今度は、天気の良いニセコに行ってみたいものです。



(勝見雅也 記)

解散旅行



5月1日10時、私達（市川会長・伏居担当理事・アドサントラベル三上添乗員・一般平会員長尾の4名）を乗せた「おがさわら丸」は竹芝桟橋を出港した。当初船酔いも含めてこの長い25時間30分をどのようにつぶすのかが心配でしたが、4人部屋の1等船室を確保出来ていた私達は酒盛りと気儘なヨタ話、ベッドでごろ寝、船内ウロウロをしているだけでそれ程退屈でも苦痛でもありませんでした。翌日2日11時30分父島二見港に到着したのですが、上陸した後も体が船の揺れに慣れてしまっていて足元がフラフラしていました。この日の午後は「竹ネイチャーアカデミー」のシュノーケリングのレッスンです。その前に島での第一回目の食事はワサビではなく洋カラシを使った鯖の漬握りである島寿司と青海亀の握りセットをいただきました。レッスン前に既に雨まで降り出して非常に寒く、かえって海の中の方が暖かいくらいでしたが、私自身は初めての体験で大いに楽しめました。海から上がった途端寒さに震えながらホテルに一目散、風呂で体を温めてようやく一息つけました。今回は「ホテルホライズン」に3連泊です。かつて今上天皇陛下が御来島された際にお泊りになられたお宿だそう。シンプルで落ち着きのある、テラスからのロケーションも非常に良いホテルです。3日は父島から更に50km南、船で2時間10分、母島までのボートツアー1日コースでした。この日もとにかく寒くて、吹きさらしの船中は体温が奪われるばかりでした。母島上陸後弁当の昼食と散策、その後また乗船して途中ホエールウォッチングや野生イルカとのドルフィンスイム（私達は寒さで4人ともやりませんでした）をしながら父島に帰ってきて、隣接する南島に上陸して貴重な自然の神秘を目の当たりにすることが出来ました。この南島は1日100名限定で海の荒れ具合では上陸できないこともあるそうです。この日は欲張ってホテルで夕食を済ませてから2時間ほどのナイトツアーに出かけました。幻想的な夜光虫や体長20cm、羽を広げると80cmもある大蝙蝠、光るキノコのグリーンペペなどを観察しました。翌4日は私個人的には一番楽しみにしていた1日シーカヤック体験を2人一組になって行いました。写真を撮ろうとしたガイド艇が転覆するアクシデントがありましたが、ベタ凧の海はパドリングするには非常に快適でした。沖縄のエメラルドグリーンとは違い「ボニンブルー」と言われる非常に透明度のある真っ青な海です。また、シュノーケリングも行い、2mほどの深さの海底に一畳半ほどもあるマンタを見ることが出来た私は非常に感動しました。最終日5日、14時乗船ま

で大神山神社を中心としたミニミニハイキングコースで最後の父島の風景を楽しみました。出港時は小笠原名物の盛大な見送りを受けて多いに感激し、再び 25 時間半の船旅をして 6 日 15 時半に竹芝桟橋に戻ってきました。添乗員さんも含めてたった 4 名の旅行ではありましたが、素晴らしい旅行になりました。企画していただいた市川先生・伏居先生のお二人には深く感謝申し上げます。
(長尾洋二記)



一般健診



平成 25 年 5 月 30 日(木)、君津健康センターで平成 25 年度の一般健診が行われました。年に一度の皆さんの体調チェックの機会である当日の受診者数は 203 名でした。今回の一番乗りの方は 7 時 40 分、やる気満々ですね。健診会場では去年よりも体重を 10Kg 減量してリベンジ?に臨んだり (S 先生)、2 日前からの禁酒で乗り切ろうなどの甘い考えの方 (K 先生) がいたり、いかにも生活習慣病健診のモデル体型ですね (?) という方もいてそれぞれの思い (良い結果の期待) が感じられました。また今回初めて受診された T 先生は 10 数年ぶりの健診とのことでした。健診は結果が出るまで不安もあり、病気の早期発見も大事ですが、無事な自分が確認できることも大切ですので毎年続けて受診して自分の現状を知っておくことは良いことだと思います。だんだん衰えてゆく自分とそれを認めたくない自分がいて困ったものですが……。私は今年も胃の X 線検査で発泡剤を途中追加で頂きました。どうしてもだめなんですよ〜。それと久しぶりにお元気そうな石井守先生のお顔も拝見できた朝でした。来年も皆さんよろしくお願いします。

(古谷隆則記)

～芝楽苦会ゴルフコンペ～

平成24年9月6日（木）に立野クラシックゴルフ倶楽部にて芝楽苦会ゴルフコンペが開かれました。残暑の厳しい中でもゴルフ好きの皆様は元気にプレーされていました。そんな中、やはりというか暑さなんか関係ない、今回最も年少の高野孝治先生が見事優勝を手に入れました。以下その結果を報告します。

順位	名 前	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	高野 孝治	4 9	4 9	9 8	2 9	6 9
2 位	原 比佐志	4 5	3 9	8 4	5	7 9
3 位	細井 系太郎	4 5	4 7	9 2	1 3	7 9
B. G	原 比佐志					



～三郡市ゴルフコンペ～

平成24年10月4日（木）に南市原ゴルフクラブにて市原歯科医師会が幹事の下、三郡市ゴルフコンペが開かれました。風もなく好コンディションの中、口癖のようにここは隠しホールと皆様つぶやきながら、プレーされていました。そんな中、見事隠しホールを見つけた当郡市の山口延善先生が優勝されました。以下その結果を報告します。

順位	名 前	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	山口 延善	4 9	5 1	1 0 0	3 3. 6	6 6. 4
2 位	松原 雅二	4 5	4 7	9 2	2 1. 6	7 0. 4
3 位	水田 進	4 6	4 5	9 1	1 9. 2	7 1. 8
B.G	加藤 和幸	3 8	4 0	7 8	+ 7. 2	8 5. 2



～芝楽苦会ゴルフコンペ～

平成24年12月6日(木)にブリストヒルゴルフクラブにて芝楽苦会ゴルフコンペが開かれました。強風が吹き荒れる中、狭いフェアウェイに悩まされながらも見事優勝を勝ち取ったのは、初参加の柳川剛先生といたいところですが、初参加の為、新ペリの暫定ハンデのため2位となり、繰り上って、細井系太郎先生が優勝となりました。以下その結果を報告します。

順位	名前	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	細井 系太郎	45	50	95	12.0	83.0
2位	柳川 剛	58	69	127	49.2	77.8
3位	市川 昇	44	49	93	9.0	84.0
B.G	加藤 和幸	43	42	85	0.0	85.0



(須藤正明記)

平成 24 年度高齢者歯科健診

平成 24 年 11 月 15 日（木）に木更津市幸町一丁目の貝渕区公会堂にて午前 10 時より 12 時まで平成 24 年度高齢者歯科健診が行われましたので報告いたします。

場所の選定に関しては、昨年に引き続き木更津市社会福祉協議会（平野さん、新井さん）の協力をいただき、今年 9 月からオープン予定のサロンがあるので、ぜひともオープンの目玉にしてほしいとの要望もあり、貝渕区に決まりました。

健診当日、歯科医師会からは、山口延善副会長、原比佐志専務を含めた 7 名、県の歯科衛生士会から 3 名の参加をいただき、当初、20 名程度を予定していた受診者が当日になり諸事情（昨年もそうでしたが、当日になり具合が悪い方や連絡が取れない方が年齢的に多いのでしょうか？）により 12 名に減りましたが歯科医師による健診、歯科衛生士による機能検査とお口の健口体操を無事終了することができました。その後、時間も余りましたので、原専務による高齢者歯科健診についての 20 分程度の講話をしていただいたのですが、受診者の皆様にはとても好評で、来年度も健診をぜひとも開催してほしいなどの要望も聞かれました。

（鶴岡隆行記）



口腔がん検診～富津市～

今年度で 4 回目となります口腔がん検診が、平成 24 年 11 月 1 日（木）に富津市市役所 1 階大会議室にて開催されました。今年度は、9 月に富津市広報および、回覧板にて検診希望者を募り、二百数十名の応募者がありました。検診当日は、当会会員より 12 名の先生方並びに健康福祉部健康づくり課の方々 4 名のご協力のもと、一次検診として当歯科医師会会員 6 名により予診・問診をとり、二次検診として千葉大学歯科口腔外科より、丹沢教授、小池先生、君津中央病院歯科口腔外科より渡邊先生の 3 名の専門医をお招きし検診していただきました。検診終了された受診者には、検診結果票を手渡し、必要に応じて

紹介状を発行しました。結果として、当日受診者180名、欠席者20名であり、そのうち、14名に紹介状を発行し、内訳は以下のとおりです。

平成24年度富津市口腔がん検診 紹介状内訳			
年齢	性別	傷病名	担当医
56歳	女	左上顎(口蓋側)歯肉白板症	渡邊
64歳	男	舌繊維腫	小池
69歳	男	右上顎 654 部歯肉白板症疑い	小池
60歳	男	右頬粘膜～下口唇部粘膜下 粘膜嚢胞疑い	丹沢
57歳	男	右頬粘膜 粘液嚢胞/血管腫 疑い	丹沢
68歳	女	舌尖部の炎症 歯牙の圧痕と硬結	丹沢
64歳	女	下顎骨隆起	丹沢
66歳	女	舌下小帯の左脇唾液腺開口部2つの黒色班	丹沢
74歳	女	心因的要素	丹沢
79歳	女	①口腔乾燥症 ②歯牙の摩耗 ③カンジダ症の疑い	丹沢
75歳	男	下顎内側咬頭が鋭縁(歯牙鋭縁?)	丹沢
64歳	男	舌の両側縁部 歯の圧痕と白板	丹沢
67歳	男	下顎隆起上白板症	小池
62歳	女	舌痛症	丹沢

今年で4回目という事もあり、阿吽の呼吸にて、設営から検診、撤収とすべてにおいてスムーズに執り行われました。これも二次検診の先生方、富津市職員の方々、当歯科医師会の先生方並びに開催地である富津市の先生方のご協力の賜物であると感謝しております。来年度も継続していく予定でありますので、諸先生方のご協力、応援をよろしくお願い申し上げます。

(小松利典記)



麻雀大会



11月14日(水)PM7:00より、雀荘潮見にて麻雀大会が開催された。
 年一回の麻雀大会を楽しみにしている会員が笑顔で集まって来た。
 プライベートではあまり麻雀をやらなくなってしまう、麻雀大会だけになってしまったよと言っていた平野先生。
 半チャン一度も上がれなかったとボヤいていた磯貝隆久先生は、きちんと6切りをしていた。さすが！
 うれしそうにスーパードライを飲みながら麻雀をしていた地曳先生は、大事に残しておいたビールを藤井先生にラッパ飲みされていました。
 大会は最後に安達先生と市川会長の一騎打ちになり、僅差で安達先生が勝利した。残念ながら負けた市川会長は準優勝。3位に実力のある麥野先生が入ってきた。ブービーは砂川先生が頑張って獲得した。(渡邊和彦記)

結果は以下の通り。

優勝	安達弦太	15 P	5 位	水野信義	9 P
準優勝	市川昇	11 P	6 位	鈴木芳則	9 P
3 位	麥野弘	11 P	7 位	原比佐志	9 P
4 位	藤井一夫	10 P	B B	砂川直俊	5 P



平成 24 年度 年末年始休日当番診療状況報告書

	1 2 / 3 1	1 / 1	1 / 2	1 / 3
木更津市 4 6	市川歯科医院 19 太田 3-3-7 Tel0438-23-6591	渡辺歯科医院 12 中央 2-3-13 Tel0438-23-5858	瀬戸歯科医院 3 朝日 2-1-30 Tel0438-25-8841	勝呂歯科医院 12 東中央 2-9-3 Tel0438-22-3561
君津市 1 3	俵田わたなべ歯科 2 俵田 722-5 Tel0439-35-3337	神歯科クリニック 3 常代 5-3-8 Tel0439-54-8141	雷田長尾 3 歯科クリニック 南子安 6-15-3 Tel0439-55-1601	よしだ歯科医院 5 外箕輪 3-4-15 Tel0439-55-3505
富津市 2 0	大澤歯科医院 10 大堀 1495 Tel0439-87-0116	水町歯科医院 1 上飯野 1691 Tel0439-87-3366	間瀬歯科医院 7 大堀 2-16-10 Tel0439-87-8211	やながわ歯科医院 2 千種新田 16-22 Tel0439-80-5577
袖ヶ浦市 2 5	高浦歯科医院 3 横田 1177 Tel0438-75-2566	山口歯科 3 奈良輪 983 Tel0438-62-9633	中村歯科医院 15 神納 1-7-5 Tel0438-62-4849	袖ヶ浦歯科医院 4 福王台 2-1-1 Tel0438-63-6544

・平成 24 年度 患者総数 **1 0 4 名**

(参考) 14 年度 117 名 15 年度 122 名 16 年度 77 名 17 年度 111 名 18 年度 80 名
19 年度 82 名 20 年度 135 名 21 年度 102 名 22 年度 94 名 23 年度 125 名

●どのような理由で来院されましたか。

Pul (13 名) Per (35 名) P 急発 (6 名) 外傷 (1 名) Perico (11 名)

A,A (4 名) G,A, (4 名) 義歯関係 (2 名) 脱離 (17 名) その他 (13 名)

●どちらで休日当番医を知りましたか。患者さんへ伺ってください。

各市へ問合せ	6	房総ファミリア	8	朝日新聞	
各市広報誌	38	新千葉新聞		毎日新聞	
各市ホームページ	37	房総新聞		君・木ホームページ	2
消防署	2	産経新聞		その他	11

●何か気づかれた点がございましたらお書きください。

Per の患者が多く来院されました。12 時を過ぎてからの来院が多く、2 時 30 分ごろまでかかりました。特に大きな問題はありませんでした。(渡邊和彦先生)

理事会報告

第 6 回理事会

平成 24 年 10 月 6 日(土)

八幡屋 午後 7 時 30 分～

一. 開会 鎌田副会長

二. 挨拶 市川会長

三. 報告

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 広報調査委員会 (神理事) | 9 月 8 日 (土) |
| 2. 会員研修旅行 (伏居理事) | 9 月 22～22 日 (土・日・月) |
| 3. 袖ヶ浦市介護保険運営協議会 (青木理事) | 9 月 26 日 (水) |
| 4. 郡市会長会議 (市川会長) | 9 月 27 日 (木) |

四. 協議

1. 富津市口腔がん検診について (11/1)
小松理事 10/17 に打ち合わせ予定
2. 社保小勉強会について (11/10)
須藤理事 「個別指導の注意点について」を予定
3. 麻雀大会について (11/14)
伏居理事
4. 高齢者歯科健診について (11/15)
鶴岡理事
5. 生涯研修講習会・忘年会について (12/1)
熊切理事
6. 県歯摂食・嚥下講習会について (12/9 木更津市民会館 小ホール)
原専務理事
7. その他
市川会長 平成 25 年度年末年始休日診療の報酬について

五. 閉会 山口副会長

第 7 回理事会

平成 24 年 11 月 7 日(水)

八幡屋 午後 7 時 30 分～

一. 開会 鎌田副会長

二. 挨拶 市川会長

三. 報告

1. 木更津市総合防災訓練実施に係る第 1 回担当学会議（山口副会長） 10 月 15 日（月）
〃 第 2 回担当学会議（山口副会長） 10 月 30 日（月）
2. 第 150 回代議員会（原専務理事） 10 月 18 日（木）
3. 産業医学研修会（鶴岡理事） 10 月 25 日（木）
4. きみつあゆみ園摂食嚥下指導（伏居理事） 10 月 25 日（木）
5. 君津市総合防災訓練（鎌田副会長） 10 月 27 日（土）
6. 袖ヶ浦市在宅寝たきり老人等歯科保健事業運営協議会（青木理事） 10 月 29 日（月）
7. 君津地域救急医療体制研究会（市川会長） 10 月 31 日（水）
8. 富津市口腔がん検診（小松理事） 11 月 1 日（木）
9. 木更津市生涯学習フェスティバル（小松理事） 11 月 4 日（日）

四. 協議

1. 社保小勉強会について（11/10）
須藤理事
2. 麻雀大会について（11/14）
伏居理事 雀荘潮見
3. 高齢者歯科健診について（11/15）
鶴岡理事 貝淵公会堂
4. 生涯研修講習会・忘年会について（12/1）
熊切理事 講師：北原信也先生
演題：「審美歯科修復治療の考え方と実際 ホワイトニング～接着まで」
5. 年末年始休日診療について（12/31～1/3）
古谷理事
6. 休日救急診療所について経過報告
市川会長
7. 県歯摂食・嚥下講習会について（12/9 木更津市民会館 小ホール）
原専務理事
8. 医療管理講習会・新年会について（1/26）
古谷理事
9. 委員会再編成について
原専務理事

五. 閉会 山口副会長

第 8 回理事会

平成 24 年 11 月 21 日(水)

八幡屋 午後 7 時 30 分～

一. 開会 山口副会長

二. 挨拶 市川会長

三. 報告

1. 社保小勉強会 (須藤理事) 11 月 10 日 (土)

講師：千葉県歯科医師会社会保険委員会 青木浩芳先生 参加 30 名

2. 平成 24 年度 富津市健康づくり推進協議会 (椎津監事) 11 月 12 日 (月)

3. 「木更津市要保護対策地域協議会」代表者及び実務者会議 (山口副会長)

11 月 13 日 (火)

4. 麻雀大会 (伏居理事) 11 月 14 日 (水)

5. 高齢者歯科健診 (鶴岡理事) 11 月 15 日 (木)

6. 平成 24 年度 4 市介護審査委員会全体会議 (原専務) 11 月 16 日 (金)

7. 第 15 回千葉県歯科医学大会 (熊切理事) 11 月 18 日 (日)

8. 木更津市総合防災訓練 (中止) 11 月 18 日 (日)

9. 医師会ゴルフコンペ (市川会長) 11 月 18 日 (日)

10. 君津市介護保険運営委員会 (原専務理事) 11 月 20 日 (火)

11. 富津市第 2 回介護保険運営協議会 (椎津監事) 11 月 20 日 (火)

12. 平成 24 年度君津健康福祉センター運営協議会 (市川会長) 11 月 21 日 (水)

四. 協議

1. 生涯研修講習会・忘年会について (12/1)

熊切理事・伏居理事

2. 平成 24 年度摂食嚥下講習会 (12/9 県歯主催)

原専務理事

3. 年末年始休日診療について (12/31～1/3)

古谷理事

4. 医療管理講習会・新年会について (1/26)

古谷理事

5. 郡市委員会再編成について

原専務理事

6. その他

五. 閉会 鎌田副会長

第 9 回理事会

平成 25 年 1 月 9 日(水)

八幡屋 午後 7 時 30 分～

一. 開会 鎌田副会長

二. 挨拶 市川会長

三. 報告

1. 医療管理委員会（古谷理事）13名出席 11月28日（水）
2. 生涯研修講習会並びに敬老・祝賀・忘年会（熊切理事・伏居理事）
12月1日（土）
3. 県歯主催摂食嚥下講習会（伏居理事）57名出席 12月9日（日）
4. 君津市介護保険運営協議会（原専務理事） 12月12日（水）
5. 君津あゆみ園摂食嚥下指導（伏居理事） 12月13日（木）
6. 君津地域保健医療協議会（市川会長） 12月19日（水）
7. 郡市社会保険担当理事連絡協議会（須藤理事） 12月20日（木）
8. 介護認定審査員現任者講習会（原専務理事） 12月21日（金）
9. 年末年始休日診療（古谷理事） 12月31日（月）～1月3日（木）

四. 協議

1. 医療管理講習会・新年会について（1/26）
古谷理事 ロイヤルヒルズビューホテル
講師：千葉県歯科医師会理事 早川琢朗先生
演題：「最新・コストを考えた感染予防対策～特にタービンの滅菌を中心に」
2. 役員選挙について
原専務理事
3. 役員親睦旅行について
原専務理事 5/22～23 予定
4. 平成25年度予算について
5. 平成24年度決算について
6. 理事会旅行について
伏居理事

五. 閉会 山口副会長

第10回理事会

平成25年2月16日（土）

八幡屋 午後7時30分～

一. 開会 山口副会長

二. 挨拶 市川会長

三. 報告

1. 君津市介護保険運営協議会（原専務理事） 1月15日（火）

2. 君津警察署感謝状贈呈式（原専務理事） 1月23日（水）
3. 平成24年度第2回袖ヶ浦市防災会議（近藤先生） 1月24日（木）
4. 医療管理講習会・新年会（古谷理事） 1月26日（土）
5. 木更津警察署職員に対する激励会（市川会長） 1月30日（水）
6. 君津市医師会・歯科医師会・君津市役所合同新年会（原専務） 2月2日（土）
7. 袖ヶ浦市介護保険運営協議会 2月7日（木）
袖ヶ浦市国民健康保険運営協議会（青木理事） //
8. 君津保健所母子保健推進協議会（鈴木みちよ先生） 2月7日（木）
9. 袖ヶ浦市在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業の会合（砂川監事）
2月9日（土）
10. 平成24年度摂食嚥下症例検討会（伏居理事） 2月10日（日）
11. 郡市学校歯科保健担当者連絡協議会・学校歯科基礎研修会（水町理事）
2月14日（木）
12. 富津市医師・歯科医師・薬剤師会議（椎津監事） 2月14日（木）
13. 平成24年度第2回君津市国民健康保険運営協議会（神理事） 2月15日（金）

四. 協議

1. 平成25年度予算について 市川会長
2. 生涯研修講習会について 熊切理事
2/27委員会 4/6 16:30より予定
3. 新年度4月～6月行事予定について 原専務理事より説明
4. 木更津市学校歯科医推薦について 休診中の中野先生に代わり玉利先生・杉山先生に
5. その他
※解散旅行について 伏居理事より日程等の説明。」

. 閉会 鎌田先生

第11回理事会

平成25年3月13日(水)

八幡屋 午後7時30分～

- 一. 開会 山口副会長
- 二. 挨拶 市川会長 担当の引き継ぎ、平成24年度決算について
- 三. 報告

1. 君津市介護保険運営協議会（原専務理事） 2月20日（水）
2. 県歯摂食嚥下担当者会議（原専務理事） 2月21日（木）
3. 郡市会長会議（市川会長） 2月21日（木）
4. 平成24年度第2回産業医研修会（鶴岡理事） 2月21日（木）

- | | |
|---|----------|
| 5. 生涯研修委員会（熊切理事） | 2月27日（土） |
| 6. 在宅医療地域リーダー研修（原専務理事） | 3月 3日（日） |
| 7. 君津あゆみ園摂食嚥下指導運営会議（原専務理事） | 3月 6日（水） |
| 8. 君津あゆみ園摂食嚥下指導（伏居理事） | 3月 7日（木） |
| 9. 木更津看護学院卒業式（鎌田副会長） | 3月 7日（木） |
| 10. 平成24年度君津地域・職域連携推進協議会
総合的な自殺対策君津地区連絡会議（鎌田副会長） | 3月 7日（木） |

四. 協議

1. 生涯研修講習会について（4/6）
熊切理事より説明
2. 平成25年度予算について
市川会長 2月の時点より変わりはない。
3. その他
※会員名簿の発行について
神理事 名簿の発行方法について

五. 閉会 鎌田副会長

第1回理事会

平成25年4月3日(水)

八幡屋 午後7時30分～

一. 開会 鎌田副会長

二. 挨拶 市川会長

三. 報告

- | | |
|---------------------------------------|----------|
| 1. 君津健康福祉センター講演会（原専務理事） | 3月14日（木） |
| 2. 決算法人説明会（木更津税務署・木更津法人会共催）（青木理事） | 3月18日（月） |
| 3. 総務会計委員会（青木理事） | 3月19日（火） |
| 4. 君津市介護保険運営協議会（原専務理事） | 3月21日（木） |
| 5. 県歯代議員会（山口副会長） | 3月24日（日） |
| 6. 木更津市立請西保育園及び木更津市子育て支援センター竣工式（古谷理事） | 3月27日（水） |
| 7. 第95回千葉県歯科医師連盟評議員会（鎌田副会長） | 3月28日（木） |
| 8. 石井みどり選挙対策委員会発会式・決起大会（鎌田副会長） | 3月28日（木） |

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| 9. 平成 24 年度 木更津市防災会議 (山口副会長) | 3 月 28 日 (木) |
| 10. 袖ヶ浦市介護保険認定審査員任命式 (青木理事) | 4 月 1 日 (月) |
| 11. 君津市介護保険認定審査員任命式 (原専務理事) | 4 月 2 日 (火) |
| 12. 平成 25 年度 富津市学校保健担当者会議 (椎津監事) | 4 月 3 日 (水) |

四. 協議

1. 生涯研修講習会について (4/6)
熊切理事
2. 役員等の選挙について
原専務理事
3. 委員会の再編について
原専務理事
4. 6 月以降の行事予定について
原専務理事
5. その他
 - ・国保いきいきフェスタについて
小松理事
 - ・一般健診について (5/30)
古谷理事

五. 閉会 山口副会長

第 2 回理事会

平成 25 年 5 月 11 日(土)

八幡屋 午後 7 時 30 分～

- 一. 開会 鎌田副会長
- 二. 挨拶 市川会長
- 三. 報告

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| 1. 平成 25 年度第 1 回生涯研修講習会 (熊切理事) | 4 月 6 日(土) |
| 2. 理事会解散旅行 (伏居理事) | 5 月 1 日～6 日 |

四. 協議

1. 国保いきいきフェスタについて (7/7)
小松理事 当日行われる口腔がん検診の打ち合わせを 6/26 に行う
2. 健康診断について (5/30)
古谷理事
3. 役員改選について
原専務理事

4. 役員会について (6/8)

原専務理事

5. 臨時総会及び定時総会について (6/8・6/22)

原専務理事

6. 役員旅行について (5/22・23)

原専務理事

7. 健歯児童生徒審査会について (6/13)

水町理事

8. 運営細則変更について

鎌田副会長

9. その他

五. 閉会 山口副会長

第 3 回理事会

平成 25 年 6 月 12 日(水)

たく 午後 7 時 30 分～

一. 開会 鎌田副会長

二. 挨拶 市川会長

三. 報告

- | | |
|------------------------------------|--------------|
| 1. 木更津市献血推進委員会 (山口副会長) | 5 月 14 日 (火) |
| 2. 学校歯科保健・地域保健医療・産業保健合同委員会 | 5 月 15 日 (水) |
| 3. 郡市障害者児歯科保健担当者連絡協議会 (伏居理事) | 5 月 16 日 (木) |
| 4. 袖ヶ浦市国保運営協議会 (青木理事) | 5 月 16 日 (木) |
| 5. 役員選挙公示 (原専務理事) | 5 月 19 日 (日) |
| 6. 平成 25 年度第 1 回君津市国民健康保険協議会 (神理事) | 5 月 20 日 (月) |
| 7. 役員旅行 (もちの木) (原専務理事) | |

5 月 22・23 日 (水・木)

8. 木更津市学校保健関係者懇談会 (市川会長)

平成 26 年度口腔がん検診内定

5 月 27 日 (月)

9. 役員選挙締切

5 月 29 日 (水)

10. 一般健診 (古谷理事)

5 月 30 日 (木)

11. 君津愛児園摂食・嚥下指導 (伏居理事)

5 月 30 日 (木)

12. 郡市会長会議 (市川会長)

5 月 30 日 (木)

(摂食嚥下指導事業 感謝状を贈呈される)

13. 監査会（原専務理事）	6月 1日（土）
14. 地域救急医療協議会（山口副会長）	6月 3日（月）
15. 河村産業事業所健診（鶴岡理事）	6月 6日（木）
16. 役員会・臨時総会（原専務理事）	6月 8日（土）

四. 協議

1. 健歯児童生徒審査会について（6/13）
水町理事 役割担当の確認
2. 新入会員について（グリーン歯科医院 池田貴裕 先生）
全員一致で承認
3. 国保いきいきフェスタについて（7/7）
小松理事 6/26に「八幡屋」にて打ち合わせ予定 クールビズで
終了後「田園」にて反省会予定
4. その他

五. 閉会 山口副会長

会員の動向



佐藤秀樹先生（袖ヶ浦市）
平成 24 年 9 月 30 日閉院



茂田雄先生（君津市）
平成 24 年 10 月 31 日閉院



安岡英明先生（君津市）
平成 25 年 5 月 31 日閉院



三幣忠明先生（富津市）
平成 25 年 6 月 30 日閉院

長期間にわたる診療 お疲れさまでした。

編集後記



業者委託を取りやめてから、今号で 2 回目となりました。“素人の手作り感いっぱい”といった感じで皆様にお届けしていますが、みづらさ等、多々不備なところも多いかと思います。

今後の誌面作りの参考にしていきたいと思いますので、忌憚のないご意見を広報調査委員会までお寄せください。

（神 由紀彦記）